

## 心理療法

心理では、必要に応じて発達検査や知能検査を行いながら、お子様の発達や認知の特徴を知ること、現在困っている行動や状況についての理解を深めていきます。また、困っている行動を減らすことのみを目指すのではなく、そのことがどのような意味を持つのか、どのようにすればお子様が生活しやすくなるかを保護者様と一緒に考えていきます。

心理で扱う問題は、ご本人様やご家族様にとっても、見えにくい問題であることが多いです。お子様のご様子、検査から考えられる特徴、生活されている環境などを総合し、専門的な立場から現在の状況の見立てをさせていただき、一緒に関わり方や対応の仕方について検討を行い、お子様の理解を深めていけるよう関わらせていただいております。

### 対象者

- ・中学生までの児童

◇具体的な困り事について（一例です）

- ・人とのやりとりに苦手さがある方
- ・気持ちのコントロールに苦手さがある方 など

### 発達検査・知能検査

お子様の発達の特徴を知るために、発達、知能、社会性など、年齢やご状況に応じて必要な検査を実施します。検査を通して物の見方や考え方など発達状況を知り、対応の仕方について検討していきます。

例) 知能検査→田中ビネーV知能検査(幼児期) WISC-IV(学童期) など

発達検査→新版K式発達検査 など

### 個別面接

お子様の発達段階や課題に合わせて教材や玩具などを使ってやり取りを深め、発達を促す関わりを行う場合や、心理療法(カウンセリングや幼いお子様にはプレイセラピー)などを行っています。また、保護者様にもご家庭や園や学校での困りごとについて伺い、お子様への関わり方について具体的に考えていきます。

### 心理室のご紹介

- ・お子様の年齢や状態に合わせた個室を用いて面接を行います。



### ペアレントトレーニング

遊びから切り替えられない、すぐに癇癢を起こしてしまうなど、対応が難しく、発達に偏りがあるお子様の保護者様を対象に、お子様の困った行動の背景を理解し、褒め方や指示の出し方など、関わり方のコツを具体的に学んでいくグループプログラムです。月に2回、全8回コースで行っています。

### SST（ソーシャルスキル）グループ

気持ちを表現したり、相手の立場に立って気持ちを考える課題などを通し、人間関係をより良くしていくための知識や技術を学んでいきます。コミュニケーション面や社会性の面で課題があるお子様を対象とし、少人数でのグループ活動を行っています。月に1回、全5回コースです。終了後には保護者様と個別での面接を設け、グループ参加児のお子様の様子や課題などについてフィードバック致します。